



散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100当)	濃度	散布量 1a 当り	対象病害虫	注意事項
/	育苗中	① 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) トップジンM水和剤 (6.6g)	10,000 倍 1,500 倍	100	立枯病	① 苗立枯が心配される時は、 リゾレックス水和剤 1,000 倍液 使用する。 ② アザミウマ類防除はオンコル粒 剤をうっすら落ちているのが わかる程度箱内散布 6kg/10a
/	定植時	② 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) オーソサイド水和剤 80 (16.6g)	10,000 倍 600 倍	200	立枯病	
/		オルトラン粒剤 粘着シート (青) 設置	-	600g 各 5 枚	アブラムシ類 アザミウマ類 ヨトウムシ類	① カブラヤガ等ネキリムシ類は、朝夕の涼 しい時間帯が捕殺しやすいため地際部食 害がみられたら周辺株元を掘って捕殺も 行う。
/	5月下旬	③ 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) アディオソ乳剤 (5mℓ) トップジンM水和剤 (6.6g)	10,000 倍 2,000 倍 1,500 倍	200	立枯病・灰色かび病 アブラムシ類、ヨトウム シ類、カメムシ類、 ハマキムシ類	① トップジンM水和剤は、 地面 も散布し、 立枯病の発生を予防する。
/	6月中旬	④ 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) スミチオン乳剤 (10mℓ) アルバリン顆粒水溶剤 (5g) ポリオキシシ AL 水溶剤 (4mℓ)	10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍 2,500 倍	300	灰色かび病、うどんこ 病、ヨトウムシ類、アブ ラムシ類、コナジラミ 類、アオムシ、アザミウ マ類、ハマキムシ類、 ハダニ類	① 立枯病の発生が多い場合には、 ユニフォーム粒剤 を1a当り2キロ 地面 に散布する
/	6月下旬	⑤ 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) コテツフロアブル (5mℓ) トップジンM水和剤 (6.6g)	10,000 倍 2,000 倍 1,500 倍	300	立枯病、灰色かび病 オオタバコガ、 ヨトウムシ類、ハダニ類	① コテツフロアブルは高温で薬害が起きや すいので、涼しい時間帯の散布を心がけ る。
/	7月上旬 (着蕾時)	⑥ 展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) アフェットフロアブル (5mℓ) ディアナ SC (2mℓ) 粘着シート (青) 設置	10,000 倍 2,000 倍 5,000 培	300 5 枚	灰色かび病 オオタバコガ、アザミウ マ類、ヨトウムシ類	① 着蕾時の防除が重要 。 アフェットフロアブルは、優れた予防効 果を発揮する ② ディアナSC は、即効性も残効もあるため 時期を逃さず散布する。
/	7月中旬 (下葉かき後)	⑦ 展着剤 ブレイクスルー(1mℓ) ダコニール 1000 (10mℓ) コテツフロアブル (5mℓ)	10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍	300	(茎腐れ) オオタバコガ、ヨトウム シ類、ハダニ類、 アブラムシ類、アザミウ マ類	① 下葉取り後は、高温乾燥が続いた場合ハ ダニ類の発生に注意する。 ② 荷作り後のムレ防止のために、下 葉かき後に殺菌剤ダコニール 1,000 倍液を散布する。
/	前回より 5日後	⑧ 展着剤 ブレイクスルー(1mℓ) フルピカフロアブル (5mℓ) アディオソ乳剤 (5mℓ)	10,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	300	灰色かび病、うどんこ病 アブラムシ類、ヨトウム シ類、カメムシ類、ハマ キムシ類	① 防除間隔を詰めて散布することで、病害 の発生を防ぎ、収穫に備える。
/	7月下旬 ～ 8月上旬 (収穫前)	⑨ 展着剤 ブレイクスルー(1mℓ) ポリオキシシ AL 水溶剤 (4mℓ) プレオフロアブル (10mℓ)	10,000 倍 2,500 倍 1,000 倍	300	灰色かび病 オオタバコガ ヨトウムシ	① プレオフロアブル は、オオタバコガに対 して効果が高く残効性にも優れる。 ② アブラムシ類、コナジラミ類の発生がみ られた場合 アルバリン顆粒水溶剤 の 2,000 倍を加用する。

※展着剤は、生育期 ハイテンパワー10,000 倍、7月上旬散布からブレイクスルー10,000 倍を使用する。

※例年梅雨前と梅雨後に害虫が多発する傾向にあるため、発生が多い圃場では防除間隔を詰めて散布を行う。(5～7 日置きに散布) 特に 7 月中下旬のオオタバコガによる被害には要注意!

※7月下旬のポリオキシシ AL 水溶剤は、出荷後の段ボール内ムレによる腐れ予防のため、必ず散布してから収穫に入る。

※降雨が多い6月と7月は、さび病の発生が見られたら、高温時や葉が濡れている時を避け、ストロビーフロアブル 2000 培を散布する。

たかが一本、されど一本! その一本で0にも100にもなります!!

当防除暦の複製・コピーの禁止

農薬使用基準

	薬剤名	薬剤系統	適用病害虫名	希釈倍率	使用回数
殺菌剤	ユニフォーム粒剤	メタラキシルM アゾキシストロビン	立枯病、(疫病)	18kg/10a	5回以内
	リゾレックス水和剤	有機リン系	苗立枯病	1,000倍	5回以内
	オーソサイド水和剤 80	キャプタン系	立枯病、茎腐病、苗立枯病	600倍	8回以内
	ゲッター水和剤	ベンズイミダゾール系	灰色かび病	1,000倍	5回以内
	トップジンM水和剤	ベンズイミダゾール系	菌核病、(立枯病)	1,500倍	5回以内
	ポリオキシ AL 水溶剤	ポリオキシ剤	うどんこ病・灰色かび病、ハダニ類	2,500倍	5回以内
	フルピカフロアブル	メパニピリム	灰色かび病	2,000倍	5回以内
	アフエットフロアブル	ペンチオピラド	灰色かび病	2,000倍	3回以内
	ストロビーフロアブル	ストロビルリン系	さび病	2,000倍	3回以内
	ダコニール 1000	有機塩素系	(茎腐病) うどんこ病	1,000倍	6回以内
殺虫剤	ノーモルト乳剤	I GR系(キチン合成阻害)	ヨトウムシ類	2,000倍	2回以内
	オンコル粒剤 5	カーバメイト系	アザミウマ類	6kg/10a	3回以内
	劇モスピラン顆粒水溶剤		アブラムシ類	4,000倍	5回以内
	アルバリン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド系	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	2,000倍 1,000倍	5回以内
	アフーム乳剤	マクロライド系	ハモグリバエ類・オオタバコガ・ヨトウムシ類・ミカンキイロアザミウマ	1,000倍	5回以内
	プレオフロアブル	ピリダリル	オオタバコガ・ヨトウムシ	1,000倍	2回以内
	劇コテツフロアブル	ピロール系 (呼吸阻害剤)	ヨトウムシ類・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類	2,000倍	2回以内
	オルトラン粒剤	有機リン系	アザミウマ類・アブラムシ類・ヨトウムシ類	3~6kg/10a	合わせて 5回以内
	オルトラン水和剤		アザミウマ類・アブラムシ類・ヨトウムシ類・オンシツコナジラミ	1,000倍	
	スミチオン乳剤		バッタ・アザミウマ類・ハマキムシ類・アオムシ・ウリハムシ	1,000倍	
	コルト顆粒水和剤	ピルフルキナゾン	コナジラミ類・アブラムシ類	4,000倍	4回以内
	ディアナSC	スピノシン系	オオタバコガ・アザミウマ類・ハモグリバエ類・(コナジラミ類)	2,500倍~ 5,000倍	2回以内
	アディオオン乳剤	ピレスロイド系	アブラムシ類、カメムシ類ハマキムシ類、ヨトウムシ類	2,000倍	6回以内

*農薬混溶順 水 → 展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 水溶剤 → フロアブル剤 → 水和剤

当防除暦の複製・コピーの禁止